

**令和4年度 沖縄県文化観光スポーツ部 MICE 推進課
指定管理者制度運用委員会モニタリング検証結果**

- 1 開催日時 令和4年8月9日（火）
- 2 開催場所 沖縄県庁 11階 第1会議室
- 3 指定管理施設 （1）沖縄コンベンションセンター
（2）万国津梁館
- 4 委員
 - ① 琉球大学国際地域創造学部 准教授 屋宜 智恵美（Web出席）
 - ② 一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 会長 神谷 繁
 - ③ 浦添商工会議所総務部結の街事業推進課 係長 當間 克哉
 - ④ 有限会社インターリンク沖縄 専務取締役 豊川 明佳
- 5 検証概要：
 - （1）検証事項
 - ①指定管理施設の令和3年度事業におけるモニタリング実施結果の検証
 - （2）検証方法
 - ①県からモニタリング実施結果の報告
 - ②意見等の聴取（各委員からの指摘・意見等に対し所管課及び指定管理者から回答）
- 6 委員からの主な意見
 - 【万国津梁館】
 - （1） コロナ禍における主催者の開催に対する意思決定のために、感染者が発生していないことや、感染対策を徹底していることのアピールをしていくとよい。
 - （2） 市民講座の取組は非常に良い。
 - （3） キャンセル料は年間通して発生しなかったのか。
 - 【沖縄コンベンションセンター】
 - （1） R2モニタリングの際に修繕については催事がない期間を利用してスケジュール化して実施することを提案したがR3はどうであったか。
 - （2） 人件費が増えた理由は？雇用調整助成金の申請はあったか。
 - （3） 修繕についてはしっかり実施するように。
 - （4） アンケートの取得状況を知りたい。
 - （5） 報告書のアンケート部分の記載内容を実施件数であるとか、工夫した点も含めてもう少し詳細に記載いただきたい。
 - （6） レストラン収入について収支報告書には他の費用に含めず別途項目を作った方が分かり易い。
 - （7） 利用状況の評価について、前年比による評価だと昨今のコロナ状況が評価結果に大きく影響している。コロナ状況を踏まえて評価基準を見直す等の検討も必要では。
 - （8） 委託費の内容について報告書にメリハリをつけたとあるがその内容について。

- (9) 委託費の中には修繕費と見込める費用も含まれているか。
- (10) 保守点検で異常項目ありとあるが改善状況を教えてほしい。
- (11) 職員研修で未実施のものがあるが。
- (12) コロナ禍で収支状況が厳しいため、修繕について 100 万以下は必ず実施することとせず、状況をみながら年間での実施金額設定を検討してみても良いのではないか。
- (13) 指定管理費が 0 円であったのは評価したい。

7 意見に対する対応

【万国津梁館】

- (1) 取組について情報発信を行いながら更なる需要回復につなげていく。
- (3) 発生していない。キャンセルの場合は仮予約の期間でキャンセル頂いている状況である。

【沖縄コンベンションセンター】

- (1) 県側と OCC 側で実施するものを協議して催事状況も勘案しながら修繕を実施した。
- (2) 人件費は手当支給により増えている。助成金の申請は行っていない。
- (4) 催事件数 236 件に対して主催者のアンケート回答件数は 140 件である (回答率 59.3%)。
- (5) R4 事業報告書に反映していく。
- (6) R4 事業報告書に反映していく。
- (7) OCC については指定管理開始当初から計画比でなく、前年比による評価を行っており、過年度評価との一貫性を持たせるため、R2 年度もコロナ禍ではあるが評価基準は見直さずに評価を実施している。前年比の結果としての指標であることをご理解頂きたい。
- (8) コロナ禍の催事状況に応じた契約内容の見直しを行い費用縮減に努めた。
- (9) 委託に係る維持管理点検等の費用のみであり、部品交換のような修繕費用は含まれていない。
- (10) 消防設備の方で改善するよう消防から指摘事項がある。順次修繕等で改善を行っている状況であり年度内の完了を目指している。
- (11) 月に 1 度事務職員の全体会議をしており、その中で研修も実施していた。実施済みの研修について報告書に記載漏れの部分もあったため R4 報告書で改善していく。
- (12) 意見を参考に検討していく。また公募時の計画や、収支状況、緊急度を判断しながら指定管理者の実施範囲について密に連絡調整しながら今年度修繕を実施していく。